

福知山市商工会 企業業況調査

令和7年7月調査結果(令和7年4月～6月分 調査対象 77件) (令和7年8月公表)

■調査対象

業種／従業員数	事業主のみ	2～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30人以上	合計
建設業	4	7	5	3	1	0	20
製造業	1	9	3	7	1	1	22
卸小売業	6	6	1	1	0	0	14
サービス業	7	10	4	0	0	0	21
合計	18	32	13	11	2	1	77

■経営動向

○製造業・建設業

	前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回
売上	2.4	19.8	0.0	-22.0
採算	-16.7	-24.4	14.3	-39.0
仕入単価	-66.7	-61.1	-64.3	-61.0
従業員数	-7.1	-9.8	14.3	17.1
資金繰り	-2.4	-9.8	-7.1	-24.4
業況	-33.3	-7.3	-19.0	-24.4

【経営動向DIの算出方法】

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出
(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

※(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

★前年同期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、売上が17.4ポイントのマイナス、採算は7.7ポイントのプラス、仕入単価は5.6ポイントのマイナス、従業員数が2.7ポイントのプラス、資金繰りが7.4ポイントのプラス、業況が26ポイントのマイナスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、前年同期比では売上が6.2ポイント、採算が8.8ポイント、仕入単価が21.4ポイント、従業員数が2.7ポイントのプラス、資金繰りが7.1ポイントのマイナス、業況が17.2ポイントのプラスとなっている。

○卸小売業・サービス業

	前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回
売上	-34.3	-40.5	-45.7	-29.7
採算	-37.1	-45.9	-40.0	-56.8
仕入単価	-54.3	-75.7	-60.0	-75.7
従業員数	0.0	-2.7	2.9	0.0
資金繰り	-31.4	-24.3	-28.6	-27.0
業況	-31.4	-48.6	-37.1	-54.1

★向こう3ヶ月

製造業・建設業においては、向こう3ヶ月では、売上が22ポイント、採算が53.3ポイントのプラス、仕入単価が3.3ポイント、従業員数は2.8ポイントのマイナス、資金繰りが17.3ポイント、業況が5.4ポイントのプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、向こう3ヶ月では売上が16ポイントのマイナス、採算が16.8ポイント、仕入単価が15.7ポイント、従業員数が2.9ポイントのプラス、資金繰りが1.6ポイントのマイナス、業況が17ポイントのプラスとなっている。

全体ではコスト高が続き、利益を圧迫。製造・建設は売上が大きく鈍化して業況は悪化。一方で採算と資金繰りは持ち直しの芽が見える。卸小売・サービスは売上と資金繰りが弱いものの、採算と業況は持ち直し。向こう3カ月は、製造・建設で売上・採算の改善見込み。卸小売・サービスは売上見通しが悪化するが、採算は改善。課題は「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「経費・人件費の増加」。仕入単価の上昇感は製造・建設で強まり、卸小売・サービスではやや緩和。先行きはトランプ関税など外部要因の不透明感も残る。短期は価格転嫁と在庫・人員の最適化、並行して販促・販路の強化が必要。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は回答数)

	製造業(47)	建設業(52)	卸小売業(34)	サービス業(54)	全体(187)
1位	仕入単価の上昇(1) 19.1%	仕入単価の上昇(1) 23.1%	需要の停滞(2) 17.6%	仕入単価の上昇(1) 24.1%	仕入単価の上昇(1) 20.9%
2位	経費の増加(2) 19.1%	需要の停滞(-) 19.2%	消費者ニーズの変化(-) 17.6%	経費の増加(2) 16.7%	需要の停滞(3) 17.1%
3位	人件費の増加(3) 17.0%	従業員の確保難(2) 17.3%	仕入単価の上昇(1) 14.7%	需要の停滞(3) 16.7%	経費の増加(2) 15.0%
4位	需要の停滞(5) 14.9%	経費の増加(3) 13.5%	設備不足(3) 11.8%	人件費の増加(4) 13.0%	人件費の増加(5) 11.8%
5位	設備不足(4) 12.8%	人件費の増加(4) 9.6%	経費の増加(4) 8.8%	設備不足(5) 13.0%	設備不足(4) 10.2%

今期の課題は全体で「仕入単価の上昇」20.9%が最多。次いで「需要の停滞」17.1%、「経費増」15.0%、「人件費増」11.8%、「設備不足」10.2%。製造はコスト高が上位を占め、建設は需要弱含みと人手確保難、卸小売は需要とニーズ変化、サービスは原価・人件費の重さが目立つ。総じてコスト高と需要の弱さが並行し、利益圧迫と人手不足が課題。価格見直しと販路強化、人員確保の工夫が求められる。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和7年7月～9月の状況について、令和7年10月に調査する予定です。商工会の経営支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。